

都市再生整備計画 事後評価シート
茅野駅周辺地区

平成27年3月

長野県茅野市

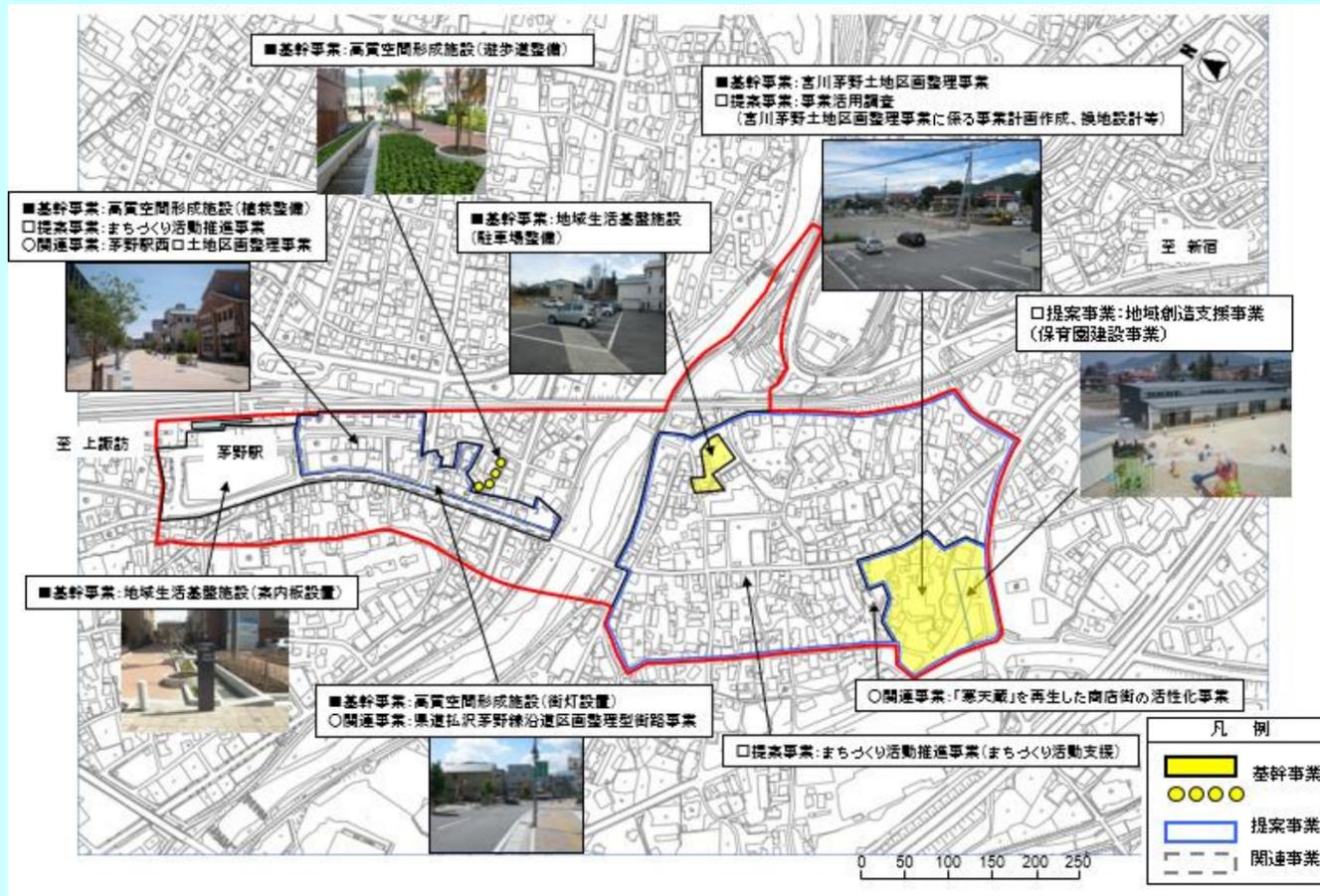
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	茅野市		地区名	茅野駅周辺地区			面積	23.8ha			
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	818.2	国費率	0.204					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設のうち、案内板[茅野駅西口、宮川茅野]、駐車場、広場整備[宮川茅野]。高質空間形成施設のうち植栽[西口]、街灯[県道弘沢茅野線西側沿線、宮川茅野]、遊歩道[茅野駅西口、宮川茅野]、せせらぎ水路[宮川茅野]。											
		提案事業	事業活用調査のうち、街並み景観計画調査、土地区画整理事業に係る事業計画作成、補償調査、換地設計等[宮川茅野]。まちづくり活動推進事業のうち、まちづくり活動支援[茅野駅西口、宮川茅野]。											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設のうち、案内板、広場[宮川茅野]。高質空間形成施設のうち、街灯、せせらぎ水路、遊歩道[宮川茅野]。	削除/追加の理由	街路事業による道路の整備に合わせて行う予定だが、道路の整備が今回の整備計画期間に入らないため。								削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	なし。
		提案事業	事業活用調査のうち、街並み景観計画調査計画作成[宮川茅野]。		地元のまちづくり協議会と連携しながら、まち並み景観形成の計画を検討し、調査費用を削減することができたため。								なし。	
	新たに追加した事業	基幹事業												
		提案事業	地域創造支援事業のうち、保育園建替事業。		保育園建物の老朽化のため。								なし。	
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更	変更なし												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	駅を中心とした来街者数	人/日	2,157人	平成21年度	2,500人	平成26年度	モニタリング	評価値	○	あり ● なし -	茅野駅西口での面整備及び高質空間の形成に伴う中心市街地の魅力向上により駅周辺に発生、集中する来街者が増加した。		
	指標2	歩行環境の改善の必要度	%	83%	平成21年度	42%	平成26年度	—	7%	○	あり ● なし -	県道弘沢茅野線の整備計画図と照らし合わせた整備状況や、茅野駅西口で整備済みの県道弘沢茅野線の歩道の安全性を総合的に判断して、歩行環境の改善が類推された。		
	指標3	居住継続意向者の割合	%	77%	平成21年度	90%	平成26年度	—	84%	△	あり ● なし -	継続意向は従前値と比較して着実に向上したが、目標を幾分下回っている。基盤整備が不十分であることが居住継続意向に十分反映されなかった。		
	指標4	街並み形成のルール申請件数	件	10件	平成21年度	30件	平成26年度	—	55件	○	あり ● なし -	市街地の都市基盤の整備改善に伴い、居住者の街並み形成への参加意欲が向上した。		
	指標5										あり ● なし -			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	—												
	その他の数値指標2	—												
	その他の数値指標3	—												
4) 定性的な効果発現状況														
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	—		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—						
	住民参加プロセス	地域住民が主体となって県道弘沢茅野線検討委員会を組織し、各部会に分かれ、道路、公園・水路、街路灯、保育園等の公共空間のデザインや使い方、また、街並み景観・商業活性化のための勉強会、検討会を実施した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 勉強会、検討会を必要に応じて開催する。						
	持続的なまちづくり体制の構築	「県道弘沢茅野線沿道地域協定」の適正な運用のための組織として、「県道弘沢茅野線沿道地域景観審査会」を設置する。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 「県道弘沢茅野線沿道地域協定」の適正な運用を支援する。また、地区住民への協定内容の周知・理解を促進する。						

様式2-2 地区の概要

茅野駅周辺地区(長野県茅野市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
【大目標】 駅西口から宮川茅野地区にかけての回遊エリアの拡大と、茅野駅周辺の街並み形成により高原都市の玄関にふさわしいまちの顔づくり、賑わいの再生を図る。 【目標1】 宮川茅野地区の基盤整備と地域資源を活かして茅野駅周辺からの回遊路を拡大させることにより、にぎわいのあるまち、誇りの持てるまちづくりを図る。 【目標2】 高質な道路・歩行空間と調和した建築物等の誘導により、秩序ある街並みを形成する。 【目標3】 地域交流センター(市民館)を核として向上した地区の集客力を活かして、中心市街地としての賑わいを再生する。	駅を中心とし来街者数 歩行環境の改善の必要度 居住継続意向者の割合 街並み形成のルール申請件数	2,157人 H21 83% H21 77% H21 10件 H21	2,500人 H26 42% H26 90% H26 30件 H26	2,683人 H26 7% H26 84% H26 55件 H26



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化していた宮川保育園の建て替えを行い、子育ての環境づくりを進めた。 ・文化センターの駐車場整備を行ったことにより、利用者の利便性、木落し公園などへの自動車によるアクセス性が向上した。 ・秩序ある街並み形成のため、地域住民主体の景観ルール(県道弘沢茅野線沿道地域協定)を定め、街並み形成の骨格となる建築物の高さ、壁面後退、屋外広告物、垣又は柵の構造等については、地区計画の決定を行った。 ・案内板、植栽、遊歩道、街灯の整備を行ったことにより、駅周辺の回遊性が向上するとともに、人が集まる賑わいの空間を創出することができた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な住宅地を供給するため施行中の宮川茅野土地区画整理事業について、早期の完了を目指す。 ・大口地区において、面整備を踏まえた街道の整備や空地等の有効利用を検討する。 ・県道弘沢茅野線沿道地域協定の浸透を図り、良好で秩序ある街並み形成を進める。 ・拡幅される県道弘沢茅野線の沿道整備に合わせ、街並みと調和した街路灯や案内板を設置する。 ・地域資源を活用した歴史を感じさせる賑わいのまちづくりを実現するため、それら資源と連動したイベント、店舗活用、回遊性を高める仕掛けづくりを検討する。 ・外国人観光客も視野に入れた集客を図るための仕掛けづくりを検討する。